

地域・保護者説明会（質問・意見要約）江刺愛宕地区センター〔参加：10名〕 R3.1.21（木）18:30～

- 学校規模について、江刺愛宕小は小規模校となっている。先日、文部科学大臣から35人学級という話も出たが、そうすると江刺愛宕小は小規模校ではなくなるのか。
- 再編を自分は初めて聞いたのは去年の夏頃。4年前から進めていたようだが、一般の人にとっては初耳。
- 「令和6年度以降、状況をみて再々編」が気になる。なぜ、岩谷堂に集めるのか。江刺の中心は地理的には玉里。岩谷堂小は600人ぐらいになり、大規模校をつくることになる。玉里に新しい学校をつくるべきだ。木細工から岩谷堂までは20kmほどある。スクールバスを出すにしても遠い。
- 児童数が減っているのはやむを得ないが、理由は、財政の問題ではないか。各地区に振興会がある。（明治40年～）村の財力のある人たちがお金を出して学校をつくり、維持してきた。教育は効率でやるものではない。木細工のように4～5人なら限界があるが、できる限り小学校は残すべきだ。しかし、市にはお金がない。それが1番の理由ではないか。
- 小学校がなくなれば、そこに人は住まなくなる。それでいいのか。心配。
- コロナ禍で、田舎に移住しようとする人もいるが、学校がなければ別の場所へ足が向くのではないか。

- 昔は分教所があった。5年生になると本校へ。学校までの距離が近いほど子どもにはよい。子どもの負担をもっと考えてほしい。何を根拠にして岩谷堂に持ってくるのか。大人目線で考えている。子ども目線で考えてほしい。
- 何が何でも残してという意見ではない。令和6年度以降に岩谷堂小にまとめるという案が固まっているように思う。その根拠を示してほしい。
- ちょうどいい場所に新しい学校をつくれればいいと思うが、つくれないのはお金の問題ではないか。
- 複式がなぜダメなのか。知り合いは、複式の分校出身で、楽しかったと言っている。現在は関東の教員になっている。
- 父兄が希望しているというだけで決めていいのか。
- 複式=学力低下と言うのは宣伝しすぎではないか。
- 父兄の意見の根拠には、山間地域の児童数の減少が影響している。昔なら何としても村を守らねばという意識があったが、今は抵抗感すらない。そこまで追い込まれている。これでいいのか。今から100年後を目指した時、もう少し時間をかけてやるべきだ。自分が聞いたのは昨年夏。もう一つ新しい学校を玉里につくるとかしてほしい。